九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

蔵書目その五 邦人法帖その一

中野, 三敏
九州大学助教授

https://doi.org/10.15017/16292

出版情報：文獻探究. 5, pp.74-81, 1979-12-05. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：

蔵書目その五　邦人法帖　その一

中野三敏

凡例

一、書名は、原題簽の備わるものは題簽名により、題簽の欠落するものは内題、見返し題、巻頭題辞等によった。その場合前者は（外）、後者は（内）（見返し）（題辞）等と注記した。編者の推測による書名は〔　〕を以て示した。

一、書型は大本→「大」、半紙本→「半」、中本→「中」、小本→「小」の如く略記した。また帖仕立のものは大略右に準拠して、大本型以上の大きさのものは凡て「大型帖」と記した。

一、板面の種類は一応凸字版、左版、正面摺にわけたが、この認定は甚だ自信がない。その他肉筆はその旨を記した。

一、全体を大きく「集帖」と「単帖」に分け、更に唐様と和様に分類し、それぞれの中で書の専家と儒者文人を区別し、それぞれ個人別に纏めた。なお和刻法帖と論書とを末に付載する。

一、由来法帖は習字の為のものであるが、編者蒐輯の目的がそこに無いこと、編者の悪筆を御存知の向きには言わずとも知れている。まさしく蒐輯癖のしからしむる所。玩物喪志の最たるものである。僅かに理由らしきを並べれば、一に本板本の美しさを最大限に示し得ていること、二に甚だしく廉価であったこと（これが最大の理由か。ともかく大半は三百円から五百円の間であった）、三に文人儒者の序跋類を多く備えること等々。

集帖

一、和漢能書筆林（外）　凸字版
大一冊（中巻ノミ存）、緑色毘沙門格子蔓唐草等型押し模様入り表紙。尊圓、尊朝、尊純、行能、文覚、解脱、大橋長左衛門、建部伝内、義之、東坡、枝山、太宗、鍾繇、子昂、慶安頃の板か。

二、洛陽名筆集（内）　凸字版
大一冊（上下巻合綴）、改装。延宝二年正月永田長兵衛板。藤木甲斐、蓮光院、龍善院、春深、北小路宮内、堀江治部斎、島山巽甫、荒木素白、大石道教、佐々木志頂磨、北向雲竹、岡尾正恵、村井了設、筒井白雲子（以上上巻）石川丈山、河口由慶、那波木菴、円常、草香、尾片宗鑑、平野伸菴、八木利斎、寺田無禅、西池備中、水尾民部、米川常伯、藤田友閑、岡張喜兵衛、西村方石、恵以、宗達（知恩寺）（以上下巻）

三、新板増補　洛陽名筆集（外）　凸字版
黒表紙、大一冊（下巻ノミ存）。二と同板なれど、書林名から「永田」の二字を削る。

四、本朝名公墨寶（外）　凸字版
緑色蜻蛉型押模様入り表紙、大三巻二冊、但し上中巻合綴本と下巻のみの本との撮合せ本。下巻は青表紙、やゝ後印で延宝三年三月平野屋佐兵衛板、の刊記をもつ。初印は正保二年刊、上・中は初印本であろう。弘法大師、道風、伝理、行成、定実、行能（以上上巻）伏見院、後伏見院、尊圓、尊道、尊鎮、尊朝、尊純、信基、光悦（以上

中巻）　惺々翁」（下巻）

五、〔三家消息〕　前田図南模刻
藍色表紙、大字版（月・星の二巻ノミ存）。各巻外題を異にし、「定家流消息月」「光悦流消息星」とある。元禄十一年孟春刊　出雲寺和泉掾板。前田図南跋。

六、猿橋碑銘（見返し）　左版　四帙（偕・行・草・篆）
大一冊、薄墨色表紙、見返しに「峽中／猿橋碑銘／文昌堂」。宝暦十一年九月江戸大和屋孫兵衛板。扉に亀玉源安定画の陰刻の猿橋図あり。宝暦五年十月十五日鳴鳳卿撰文、関思恭篆額、東川平芝之書。碑陰文、石川麦庚撰文、平芝之書。諸家贈文、蘭亭高惟馨文、頤斎高玄融書。筑波石正猗文、深川親和書。筑波作詩、天姥松敬和書。龍門劉維翰跋、華岡滕益道書。熊耳餘兼裕跋、謙堂平明雅書。亀山松崎惟時跋、天姥松山敬和書。

七、鶴書稽法帖（外）　金龍道人輯　左版
大一冊（上巻ノミ存）、黄色表紙。獨立、雪山、蘿山、但徠、南部、広沢、高天漪、祇南海、梁蛻巖、萬庵、烏石、平林惇信、南禅寺魯山、高頤斎、関思恭、伊藤蘭嶋、新興蒙所、堀南湖、山県周南

八、鶴書稽法帖（内）　左版
原表紙欠、大一冊（上巻ノミ存）。六と同板なるも堀南湖迄を収める。

九、和漢名公法帖（外）　書苑斎武子輯　左版
薄茶表紙、中二冊（上中巻二冊ノミ存）。明和八年春、松窓主人（関）序。上巻は中国諸家八十八家、中巻は日本諸家七十五家を収む。尚上巻末に十丁にわたって中国諸家三十三家の略伝及び書法伝派図等を収める。

十、和漢名公法帖（外）　書苑斎武子輯　左版
薄茶表紙、中三巻三冊。八と同板なるも、上巻には序文、凡例無く、目録も改刻され、巻末十丁の略伝も無い。中巻は八と同板。下巻は本朝近世諸家四十五家を収める。

十一、盛世翰藪（外）　杜徽中江松窠輯　凸字版
大二冊（巻一・二ノミ存）、薄茶表紙。寛政乙巳（乙卯（七年）か丁巳（元年）の誤記か）自序。巻一、当代公卿六家、巻二、当代平安儒林耆宿十七家を収む。藤原咸序。

十二、韓大年雙鉤　釈大家摹刻　墨帖目録　凸字版
段子装折帖一帖。勢南松坂獅子吼堂蔵板。親帖十巻、子帖十巻、孫帖十巻、曾孫帖七巻、以上三十七巻目録。

十三、世尊寺法書（内）　町田（延陵）清興審定　正面摺
布装折帖一帖（第五巻一冊ノミ存）。寛政八年六月刊、七代伊經、八代行能。

十四、東都集古帖（見返し）　健斎田章摹摺　原拓
大一冊。縹色表紙。石川梧堂見返し題、清水赤城序、文政六年十二月藤原栖栄序、同十一月自序、同年同月自跋、同年同月田益跋。江戸現存の寺社題額鐘銘招牌等の名筆百十三を目録に記し、その内の若干点の原拓を収める。

十五、和漢歴代名公法帖（外）　書苑斎武子輯　左版
中三巻二冊。文化四年刊、大坂塩屋喜助板。九と同板の後印なるも、九の上・中二巻を一冊にして乾の巻とし、下巻を坤の巻とする。尚、九の下巻は全廿七丁に唐様書家四十五家を収めるが、この坤の巻は更にその後に十五丁分が増え、和様書家三十五家分を収める。

十六、〔咸宜園書画帖〕　正面摺
中型折帖一帖、板表紙。古竹園主人岳書、戊午（安政五）夏日岳画、廣瀬謙書、淡窓書、千原誠書、安政戊午夏広瀬林外書、柴秋邨書、岳画、青邨書、柴南海書、長三洲書。

単帖

(1)
一、〔三躰詩絶句〕　肉筆帖　二躰（隷・草）
一巻。巻末に「甲午（承応三年）垢月萍寄道人書於長崎旅舎」。七絶
(2)
佐々木玄龍

二、玄龍書八景詩并歌（外）　左版　五躰（楷・行・草・八分・仮名）
大一冊、縹色表紙。「依知己之求揮頴于東武之僑居焉
延宝改元癸丑之冬　佐々木玄龍」。天和三年仲秋日刊。

三、(3) 佐々木文山
三體詩絶句（外）　左版　草書躰
大一冊、紺色表紙。見返しに「三體詩絶句／雲凌文山草
書」。七言詩。

四、芸窓一閲（外）　肉筆帖　四躰（楷・行・草・隷）
大型折帖一帖。大字。巻末に「文山（墨華堂文山）

五、中書楷訣（外）　肉筆
大一冊、紺色表紙。奥に「中書楷訣一帙為墨池筌蹄附焉
／元禄丁丑（十年）八月穀旦佐々木文山子／林雲中雅伯」。
巻立網著「中書楷訣」の写。

六、(4) 岡林竹筆苑摘華（版）　左版　草書和文章
大一冊、紺色表紙。「元禄七甲戌載孟夏之吉岡林竹子春」
跋。

七、(5) 佐々木志頭磨（松竹堂人・恵念）
志頭磨墨妙（外）　左版　楷書大字
大一冊、薄墨色市松格子模様入り表紙。奥に「右諫院題
名記為友輩□書／松竹堂人」。元禄十一年正月、河勝五
郎右衛門板。

八、佐々木志津磨筆格（外）　肉筆書法
大型折帖一帖。見返しに「古志津摩佐々木専念翁傳来十
六點畫令傳授者也」とある。人見少華旧蔵。

九、(6) 佐々木照元
〈楷書千字文〉　淡墨左版　楷書躰
大二冊、薄茶色表紙。「正徳壬辰（二年）歳葭月中浣昭
元書」。京、長崎屋庄兵衛、唐本屋佐兵衛合刻。

十、(7) 赤井得水
草千字文（外）　左版　草書躰　附釈文
大二冊（乾坤）、薄茶地卍つなぎ空押し模様入り表紙。
「宝永三丙戌五月中旬書武陽散人赤井明啓得水」。出雲
寺和泉掾板。

十一、〈草千字文〉　淡墨左版
大一冊（坤）、水色地卍つなぎ空押し模様入り表紙。十の
坤一冊。摺りはこの方がやゝ早いか。

十二、時用文案（版）　左版　草書和文章
大型横本一冊、栗皮色表紙。微通堂耕水跋。日本橋通一
丁目森田忠兵衛板。巻末に得水法帖目録半丁あり。筆法
蒙引二巻、獻寿法帖一、李東郭跋、中字千字文一、大字
千字文五巻、同文異躰、林祭酒序二、蘭亭記草書一、七
部を記す。

十三、(8) 寺井養拙獲麟解、愛蓮説、東銘、草書并和歌　左版　行草二躰
大（縦細）四巻四冊、茶色表紙。「寛永巳丑（六年）春
草庵子共」。享保丁未（十二）夏五月上澣　普斎岡子廸
跋。享保丁未五月、浪速河内屋宇兵衛板。

十四、(9) 井手正水
春山法帖（外）　淡墨左版　行書躰
大二冊（前後）。紺色表紙。「元禄十三年四月下旬書」。
元禄十一年臘月僧智門序。中村氏勝忠彫。日東帝畿宣風
坊香川勝由蔵板。

十五、詩従帖・唯心帖（外）　左版　草書躰
大二冊（前後）、紺色蔦唐草型押し模様入り表紙。「元禄
巳卯（十二）十二月下旬書」。宝永丁亥（四）仲秋僧智
門跋。

十六、〈詩従帖・唯心帖〉　淡墨帖左版　草書躰
大二巻二冊、縹色蔦唐草型押し模様入り表紙。十五と同
板の淡墨摺り。この方がより早い板か。但し智門跋は無
し。

十七、(10) 常安古渡帖（外）　淡墨左版　草書躰　鴈皮摺り
大一冊、小豆色表紙。跋末に「享保酉（二か十四）冬の

日洛東快楽梓にちりしくのみ」

十八、(11) 僧南谷　左版　行書躰

大一冊、縹色表紙。享保十九年臘月念一日南山昶遍序。義剛後識。跋末に「享保甲寅（十九）雪月上澣大通南谷梁譚拜書」。京醒井魚店上ル丁、丁字屋庄兵衛板。水戸侯所藏空海遺稿及び贈答篇。

十九、(12) 北島雪山　正面摺　行書躰

大型折帖一帖　五折。巻末に「雪山人書」。巻首に「南雅堂定帖」とある。

廿、水嶋記（外）　正面摺　楷書躰

折帖一帖　但し原姿は冊子なるを折帖に改装）。題簽下部に「南雅堂」とあり。巻末に「雪山人書」。元禄二年正月書。都城の南の海中にある水嶋の由来を綴る。雪山撰文。

廿一、(13) 高天漪　游馬山温泉記（丙）　左版　草書躰

大一冊、薄茶色表紙。「崎陽高月軒元恭識并書」。東郊平鱗釈文付。宝暦癸未（十三）五月清虚道人後識。同年五月廿三日平鱗跋。同年夏藤文恭子章跋。

廿二、(14) 細井広沢　「山抱帖」　左版　草書躰

大一冊、薄茶色表紙。「歳戊申（享保十三）秋七月十有九日廣澤滕知慎書於東都青山奇勝堂南軒時年七十二」。

廿三、千字文（外）　左版　行書躰

大二巻二冊、薄茶色表紙。「甲辰（享保九）春二月　廣澤書」。享保壬子（十七）年二月、太凡石之清叔澤跋。上巻は原版、下巻は明和九年再刻本の撮合せ本。下巻奥附に「元版享保十七年壬子五月／江都書肆嵩山房　發行／明和九年壬辰七月／再刻　小林新兵衛／須原茂兵衛發行」

廿四、千字文（外）　左版　草書躰

大二巻二冊、薄茶色表紙。享保壬子（十七）歳夏再五月三日廣澤老漁書於思貽斎」。享保十八年夏、赤城田章仲文父跋。享保十九年八月、嵩山房須原新兵衛發行。

廿五、百聯抄（見返し）　左版　行書躰

大一冊、薄茶色表紙。甲寅（享保十九）六月、廣澤知慎書。享保甲寅秋八月刻于井清三生白堂。日本橋南二町目　戸倉屋喜兵衛板。

廿六、「飲中八仙歌」　左版　行書大字

大一冊、薄茶色表紙。享保乙卯（二十）端午前日書於青山奇勝堂廣澤慎時年七十又八

廿七、愛蓮説（外）　左版　行書躰

大一冊、薄茶色表紙。享保乙卯（二十）十一月望、田章赤城跋。享保二十年冬、江戸西村源六、京、同市郎右衛門板。

廿八、禪林役牌（外）　左版　楷書大字

大一冊、薄茶色表紙。「丙午（享保十一）歳春正月為主鶴禪人書於思貽斎夕窓　廣澤居士」。元文三年仲夏模刻于白雪堂。

廿九、「醉翁亭記」（題字）　左版　行書躰

大一冊、薄茶色表紙。「己酉（享保十四）秋八月晦日書於青山思貽斎夕陽窓下　廣澤老人」。勢州呂直道跋。春秋堂吉文字屋治郎兵衛藏板目録あり。廿三丁一丁欠。

廿、醉翁亭（外）　左版

大一冊、縹色表紙。見返しに「廣澤先生／醉翁帖／東都春秋堂藏」。「己酉秋八月晦日書於青山思貽斎夕陽窓下広沢老人」。寛延己巳（二年）十月既望、醫官潮月主人跋。同年十一月、滕忠克跋。勢州呂直道跋。同年冬、東都醫官堀本寛好跋。寛延二年己巳十一月、大坂吉文字屋市兵衛、江戸吉文字屋次郎兵衛合刻。文政六年正月大坂河内屋長兵衛求板。板は廿九と同板。廿九はこの書から跋三則と奥附を欠く元板であろう。

廿一、〔唐詩帖〕　左版　四脉（楷・行・草・八分）
大一冊、薄茶色表紙。「乙卯（享保廿）四月廣澤愼書」。寛延三年十二月香山勝廣慶跋。太保堂奥村喜兵衛藏板目録一丁半あり。

廿二、〔唐詩帖〕　左版　三脉（楷・行・草）
大一冊、薄茶色表紙。廿一と同板なるも、巻頭三丁分（八分脉）欠。巻末、廿一とは別の奥村喜兵衛藏板目録半丁あり、中に「唐詩帖（廣澤筆）真行草」とあるのがこれか。とすれば巻頭八分脉三丁の欠は意図的に削除されたものである。

廿三、醉別帖（外）　左版　行書
大一冊、薄茶色表紙。「丙午（享保十一）歳廣澤釣叟書於思貽齋」。宝暦六年仲秋門人老圃古郡信精跋。宝暦六年九月、江戸須原屋茂兵衛板。

廿四、浣花帖（外）　左版　草書脉
大一冊、薄茶色表紙。「己未（元文四）臘月廣澤書」。明和元年十月崇古堂主人馬世章跋。江戸須原屋茂兵衛・近江屋源七板。

廿五、廣澤大和文（外）　凸字板　仮名
大一冊、縹色布目表紙。「正德甲午（四）の秋八月の末つかたしる人の仮名文字つくりてと此帖をよせをこせければ不堪のしわさはちおもへとも知識の請にまかせ侍るになむ」。明和七年庚寅九月彫成、寛政九年丁巳四月求板、東都書肆蔓延堂下谷御成小路足利屋勘六板。

廿六、飲中八仙歌（外）　左版　草書脉
大一冊、薄茶色表紙。廿六とは別本。

廿七、〔侍尺牘帖〕　左版　草書脉書簡文
半一冊、薄茶流引き表紙。「廣澤老漁書」

松下烏石

廿八、〔俠者帖〕　左版　草書脉
大一冊、紺色表紙。「因録旧作数首し庚申（元文五）春二月烏石源君岳書」。元文五年四月西涯藤豊昌跋。

廿九、画龍引（外）　左版　草書
大一冊、薄茶色表紙。「画龍引贈忍海上人服元喬　庚申（元文五）閏七月赤羽源君岳書」。「文化九壬申歳姑洗日　江源兵衛」板。

四十、功力氏鏡銘（内）　左版　楷書
中型折帖一帖、濃緑絹布装。服元喬撰文。源君岳書、談雪主人光頭陀跋（元文庚申秋田實卿書）。

四十一、烏石山人傳（外）　左版　楷書
大一冊、縹色表紙。見返しに「荘子謙先生著／烏石山人傳／（中臺・南山）両先生校」。文末に「友人荘子謙為余著余書与家姪時元文庚申（五）冬十二月也　（河保秀・勝貞景）校刻」

四十二、〔青蘿館六詠〕　左版　行書脉
大一冊、表紙欠。釈麻谷序。服子遷、鶴士寧、釈雲洞、荘子謙、高子式、釈萬菴作詩。源君岳書。元文庚申（五）歳七月廿三日鷺洲高美啓跋。元文五年江戸小川彦九郎板。

四十三、松下神祠記（内）　左版　楷書
大一冊、元表紙欠。荘允益撰文。「寛保改元辛酉孟夏之月男烏石君岳謹書」。「（井鎮興・桜正直）同刊」。烏石家父母祭神祠記文。

四十四、雲月楼記（内）　左版　楷書
大一冊、薄茶色表紙。釈魏堂撰文。寛保癸亥（三）歳五月烏石山人書贈天猊師。宝暦弐壬申晩冬、江戸萬屋清兵衛求板。

四十五、草訣百韻歌（内）　左版　行書
大一冊、茶色表紙。「延享二年乙丑冬十二月十八日書於青蘿館狼淡平定震」。釈文付き。東都山城屋茂左衛門板。

四十六、行書唐詩選（五言絶句）（外）　左版　行書
大三冊（上中下）、縹色卍つなぎ型押し模様入り表紙。見返し「烏石先生／行書唐詩選（五言絶句）／浪華書林（昭春堂・文貞堂・賢脇堂）發兌」。「丙寅（延享三）夏六月書於小廬山奉一身田大法主臺下烏石葛辰」。浪花書舗山口又一、梁瀬傳兵衛、柳生介七板。刹刷氏京都畑九兵衛。巻末に崇高堂河内屋八兵衛藏

板目録一丁附。

四十七、行書唐詩選 五言絶句（外） 左版

大二冊（中巻欠）、薄茶色表紙。四十六と同板なるも、奥付は東都書林小川彦九郎、西村源六板となる。巻末文刻堂西村源六藏板目録二丁附。

四十八、論書帖（外） 左版 楷書

大一冊、縹色表紙。「右蔡君謨論書 延享丁卯（四）九月十日書呈今張世子」

四十九、百日帖（外） 左版 楷書大字

大一冊、薄茶色表紙。「延享丁卯（四）九月九日烏石辰書示源蟹蜜」。延享四丁卯十二月須原屋安兵衛板。

五十、杜少陵秋興八首（内） 左版 楷書躰

大一冊、黄色布目表紙。「丁卯（延享四）歳冬烏源子孟書烏石葛辰」。江戸村田小兵衛、須原平左衛門板。

五十一、前赤壁賦（内） 左版 楷書

大一冊、薄茶色表紙。「丁卯（延享四）冬烏石辰書與平百里」。享和二年初春江戸和泉屋左次郎求板。

五十二、新刻行書千文（外） 左版

大二冊（上下）、黄色卍つなぎ雲型散らし型押し模様入り表紙。「戊辰（寛延元年）四月孟夏烏石葛辰書於懐橘堂中奉贈今張侯」。寛延二年原板、寛政十二年再板。江戸須原屋平助、京須原屋平左衛門板。

五十三、〔永井公碑〕 左版 楷書

大一冊、縹色布目表紙。「延享戊辰（寛延元年）歳夏六月豊臣杵荘允益撰 烏石葛辰書」。寛延戊辰冬備後釈一源大涛跋。寛延元年霜月大坂大野木市兵衛板。

五十四、愿卿帖（外） 左版 楷書

大一冊、薄茶色表紙。服元喬撰文。葛辰、不實聞、木希元作詩、烏石葛辰書。寛延元年冬東嶽菅斐卿跋。

五十五、蜘蛛端研記（内） 左版 楷書

大型折帖一帖、薄茶紙装。戊辰（寛延元）之春南郭服元喬撰文、荘允益作銘、鵜孟一作詩。烏石葛辰恭書併獻東叡大玉殿下。戊辰冬釈善亮跋。

五十六、〔留紅帖〕 左版 草書躰

大型折帖一帖、薄茶色絹布装。「烏石葛辰書於六條飛雲閣獻一身田大法主殿下時寛延庚午（三）秋八月也」

五十七、秀天霊社碑銘（内） 左版 楷書

大一冊、縹色布目表紙。「延享丙寅（三）八月十二日儒臣岡白駒奉命撰 宝暦二年三月書與河麟丘 葛辰」。宝暦二年初秋、風月堂荘左衛門刊。肥前塩田郷鍋島直澂公祠銘。

五十八、酒徳頌（内） 左版 行書躰

大一冊、縹色表紙。「宝暦癸酉（三）歳夏日書肆好文軒（京秋田屋伊兵衛）寿梓」。巻末に好文軒藏板目録半丁附。

五十九、讀書十六観 左版 草書躰

大一冊、原表紙欠。「宝暦己卯（九）臘月烏石辰書贈金龍道人」。陳継儒撰文。

六十、墨妙閣記（内） 左版 楷書躰

大一冊、薄茶色表紙。宝暦癸未（十三）九月烏石撰文、上山田寛書、明和元年十月望上山田寛跋。小野道風祭記。明和元年冬江戸藤木久市、坪内茂左衛門板。

六十一、日東曲（内） 左版 二躰（楷・行）

大一冊、縹色表紙。宋景濂撰文。楷書末に「安永乙未（四）冬書贈天山師烏石辰」。行書末に「安永乙未歳九月烏石辰書贈天山師」。文政元年七月大坂藤屋定七藏板。

(16) 平林惇信

六十二、草書千字文（外） 左版

大二巻合一冊綴、改装。末に「時寶暦壬申（二年）蒲月初八日梅雨霏々 消日居惇信於東維軒書」。宝暦五年六月江戸文昌堂大和屋孫兵衛板。

六十三、〔天門帖〕 左版 行書躰

大一冊、薄茶色表紙。末に「消日居惇信書」

(17) 関思恭

六十四、春江花月夜（外）　肉筆帖　八分躰
大一冊、薄黄絹装。末に「享保乙卯（二十年）秋八月十七日　関思恭書」
六十五、和文章（外）　左版　草書
大横本一冊、薄墨色小菊紋散らし型押し模様入り表紙。見返しに「戯蝶嬌華／中村惟徳題」。末に「宝暦壬申（二年）夏四月五日也　関思恭」。宝暦八年正月十七日門人中村惟徳跋。宝暦八年夏、京西村市郎右衛門、江戸西村源六、同書三郎合板。
六十六、千字文（題辞）　左版　草書
大一冊、改装。末に「寶暦九年歳在己卯冬十月二日鳳岡関思恭書於□黙斎南軒下与野士游」とある。乙未（安永四）八月川崎整儀跋。安永五年正月江戸前川六左衛門板。筆工中用斎宣陳子、刻師井亀年。
(18)
六十七、（唐詩帖）　肉筆帖　草書躰
大一冊、路孝茶色表紙。末に「七十七歳親和」
六十八、愛蓮説（外）　肉筆帖　草書躰
大（縦細）一冊、薄茶色表紙。末に「龍湖親和」
(19)
亀田窮楽
六十九、（八分篆千文）　肉筆帖　淡墨
大二冊、藁袋紙表紙。末に「洛西隠者窮楽行年八十書」
七十、（八分篆千文）　肉筆帖　淡墨
大一冊（上巻欠）、薄茶色宝尽し型押し模様入り表紙。末に「窮楽散人書」
(20)
新興蒙所
七十一、草書千文（外）　左版　草書
大（縦細）天地二冊、卵黄色亀甲文梅花散らし型押し模様入り表紙。乙巳（享保十）歳冬月穀旦朱綬子章肉筆序。
七十二、（篆書帖）　正面摺　篆躰
大型帖一帖、改装。巻末に「興光鍾篆」
(21)
俠山默隠
七十三、（漢隷千字文）　左版　隷書躰
大（縦細）一冊（上巻欠）、唐本表紙。末に「享保乙卯（廿）春正月書浪華森本修来」。享保廿年三月門人高玄同跋。
七十四、勝王閣叙（題言）　肉筆帖　草書躰
大型折帖一帖、緞子装。巻末に「明和歳次戊子（五年）霜月念四日常足道人書於浪華調古菴」
七十五、岳陽楼記（題言）　肉筆帖　行書躰
大型折帖一帖、緞子装。巻末に「明和龍集戊子（五年）冬至日常足道人書時年六十有七」
(22)
泉必東
七十六、茶歌（外）　左版　草書躰
大一冊、紺色表紙。末に「泉必東書」。乾隆丙寅（延享三年）九月董可亭跋、同年秋沈草亭贈詩。水上市兵衛刻、大坂安井嘉兵衛板。
七十七、（和文章）　凸字板　草書躰
大一冊、薄茶色表紙。寛延戊辰（元）年十月赤羽阮虚卿跋。大坂村上伊助板。
(23)
牧夏岳
七十八、夏嶽山人國字（外）　凸字板　草書
大一冊、紺色表紙。宝暦乙亥（五年）端午日鳴門田中章序。序末に「積小家塾藏」とある。和歌帖
(24)
大橋東堤
七十九、座右銘（外）　左版　草書躰
大一冊、紺色卍つなぎ雲型散らし型押し模様入り表紙。末に「明和戊子（五年）夏四月　東堤橋富書」
(25)
大雅堂
八十、大雅行書千字文（外）　左版　行書躰
大一冊、薄茶色小菊紋散らし表紙。末に「無名誌」。最終丁ノドに「享和癸亥（三年）平安書肆柳見甚左衛門梓」人見少華旧蔵。
八十一、（行書千字文）　左版　行書躰
大一冊、元表紙欠。凡そ八十と同板なるも、刊記が「享

和三癸亥五月　京都書林　林伊兵衛」となる。これが初印か。

八十二、〔淮水帖〕　左版　行書躰
大一冊、薄茶色表紙。末に「霞樵」。人見少華旧藏。唐詩帖。

八十三、大雅堂法帖（外）　左版　行書大字
大一冊、卵黄色表紙。無署名（印のみ）。文化元年三月京林喜兵衛、城戸市右衛門板。人見少華旧藏。五言古詩。

八十四、大雅行書般若心経（外）　左版　行書躰
縦細大型帖一帖、薄茶色紙装。末に「池無名書」。辛巳（文政四年）初秋竹窓黄跋。人見少華旧藏。

八十五、〔般若心経〕　左版　行書躰
縦細大型帖一帖、鶯色絹装。凡て八十四と同板。人見少華旧藏。

八十六、般若心経（外）　正面摺　行書躰
細帖一帖、薄茶色紙装。巻末「無名」「霞樵」の印のみ。八十四・八十五とは別板。やゝ肉細の字。人見少華旧藏。

八十七、〔瀟湘八景帖〕　正面摺　二躰（楷・行）
小型帖一帖、薄茶布目紙装。初丁に「霞樵写」とあり。文政十年六月尚書堂基次板。

(26)
八十八、趙陶斎　蒙求標題（外）　左版　楷書
大型折帖一帖、黄色紙装。末に「甲申（明和元年）春三月　陶斎養書」

八十九、蒙求標題（外）　左版　楷書
大一冊、黄色表紙。見返し「趙陶斎書／蒙求標題／文海堂梓」。巻末に文海堂敦賀屋九兵衛藏板目録半丁附。八十八と同板の後印。人見少華旧藏。

九十、銅龍帖（外）　肉筆帖　草書躰
大型折帖一帖、茶色緞子装。巻末に「丁亥（明和四年）端午前二日息心」

九十一、雑説・愛蓮説（内）　正面摺　草書躰
大型折帖一帖、板表紙。「雑説」末に「己丑（明和六年）八月」。「愛蓮説」末に「陶斎」

九十二、浣沙帖（外）　肉筆帖　草書大字
大型折帖一帖、濃緑色絹布装。巻末に「庚寅（明和七年）臘月十七日枸杞園主人書与子璞」

九十三、〔唐詩帖〕　正面摺　草書躰
大型折帖一帖、緞子装。末に「明和辛卯（八年）二月中旬陶斎書于自畊斎中」。五絶。太田虹邨旧藏

九十四、新百家姓（内）　左版　楷書躰
大一冊、薄茶色表紙。巻末に「天明五年歳在乙巳初夏十三日陶斎養書　時年七十三歳」。嘉永二年三月浪華藤屋善七板。

――九州大学助教授――